

令和4年度 Mine みらいトーク<真長田地区>

日時:令和4年 8 月 9 日(火) 18:30~20:20 場所:真長田公民館多目的ホール 参加者 13 名

団体	真長田まちづくり振興会
テーマ	<p>・定住促進 真長田地区は山口市小郡からも近く、他市からの転入もしやすい立地であり、ある程度の空き家入居の需要も見込まれると思う。定住促進策として、空き室が多い白土市営住宅を活用した、山村留学やお試し移住、社宅利用等が出来ないか。</p> <p>・農業後継者の対策 農業者が減少し農地の荒廃も著しい。この中山間で新たに農業をしようとする人は皆無であり、15 年後くらいには、美祢市の農業が崩壊していないか危惧している。</p>

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
真長田地区は山口、小郡に隣接しており、宇部空港までのアクセスも良くまた、十文字工業団地やテクノパークなどの通勤圏内にあることから立地としてはいいところであると考えている。しかしながら、最近では子供の出生数が少ないなど、活性化への取組が必要であると考えている。そこで白土団地を提案のとおり活用することについてお話を伺いたい。	<p>少子化の対策については、婚姻数の増加が重要と考えており、婚活支援であるGO-ENプロジェクト等に力を入れているところです。</p> <p>また、市営住宅の長寿命化計画を令和 5 年度に策定することとしており、その中で会社の寮などの目的外使用が可能になるよう施策の盛り込むこととしています。</p>	
市営住宅の長寿命化計画に盛り込む施策の展開にあたっては、市だけで行うのではなく、地域や民間と協力して行うべきと考えるが如何か。	今後、計画の具体的なことについては、ご説明させていただきたいと考えています。地域との協力については、空き家情報を地域の方から提供いただくと幸甚です。	
空き家の活用について市の方から情報提供ができないのか？	個人情報の提供となり、難しい面もありますが、できる範囲での情報の提供はしたいと考えています。	
子育てについて予算を増額している市が多い。美祢市で	子育ては、金銭支援だけでは不十分と考えています。子育て	

<p>も支援を行うべきでは？ 子育てについては、お年寄りが近くにいれば、子育ての支援に繋がると思うがどう考えているのか。</p>	<p>環境をネットワークで支援する体制を作る必要があると考えています。子や孫のいる世帯に、その祖父母が暮らすいわゆる近居に関わる施策については、今後、取組を検討していきたいと考えています。</p>	
<p>真長田地区は、現在、買い物も満足に出来ない状況である。企業誘致もいいが、お店の誘致はできないのか。</p>	<p>スーパー等の誘致について秋芳地域で検討してみましたが、条件の面で誘致に至らなかった経緯があります。現状では、誘致は困難であると考えています。</p>	
<p>農地が荒れ果てている。しかしながら、農地の活用は手続き的に大変困難なことも多い。どうにかならないものか。</p>	<p>農地転用が少しでもスムーズに行えるよう事務処理時間が短くなるよう検討を進めたいと考えています。</p>	
<p>宇部の小野地域では、イベントをよくやっており、集客がある。美祢市でももっとイベントを実施するべきでは？</p>	<p>現在、地域における市主催のイベントはあまりありませんが、観光部局とも相談して実施について検討します。</p>	
<p>山村留学という施策があったと思うが、白土団地にお試し移住してもらい、淳美小学校に山村留学する施策はできないか。</p>	<p>教育委員会にも相談して、まずは調査を行いたいと考えます。</p>	
<p>地域の農政について、行政の対応は出尽くしている感があるが、本市のような中山間地域は治山や治水の面から農業の振興はとても重要であると考えており、美祢市からなにか良い施策はできないもののでしょうか？</p>	<p>農業の再生にあたり、中山間地域独特の施策を展開することで改善されることもあると考えています。たとえば、田や畑の「のり面」を緩やかにして草刈りの負担を軽減するなどの施策は有効ではないかと考えています。</p>	
<p>いわゆる半農半Xは美祢市の状況に合うのではないか。企業と協定を結び農業と就業を両立できる環境を市からも取り組めないか？</p>	<p>半農半Xのロールモデルをまずは示せないといけないと考えています。難しいことであるが示せるよう努めたいと考えています。</p>	
<p>今の農業は収支が合わず離農、後継者不足が増えるのは当然と考える。市外でも荒廃した農地や山林に外国資本のメガソーラーが設置されている事例もあり本市でも対策が必要なのでは。</p>	<p>メガソーラーの対応については、地域を守る取り組みが必要と考えており、本市では、立入検査ができるような仕組みを作っています。 農業施策については、国・県の事業を軸に進めてまいりたいと考えておりますが、地元の農業を大切に農政を進める</p>	

	ことを今後も第一に考えてまいります。	
交流拠点都市を掲げているが、美祢線についてJR主導で今後の在り方進められることに危機感を感じる。萩、長門、美祢で鉄道とバスを組み合わせた観光ルートの提案などをしてみては如何か。	JR美祢線の在り方については、本市の考えを市長会や県宛てに提案しているところであります。また、JRの方からも観光に特化した取り組みもいいのではないかというお話をいただいているところであります。	
十文字原団地の活用については、どうなっているのか。	現在、国の進めるデータセンター整備の候補地として立候補しているところであります。	
市内でも外国人が増えているが、ごみの出し方について、定められた出し方ができていないことがある。ごみ袋が日本語表記だけとなっており、多言語化すればわかりやすいのでは。	ごみ袋の多言語表記については、今後、検討してみたいと考えます。	
近年、行政と市民の距離が離れている感じがする。合併で広域化しており職員の顔もわからない人が多い。地区の担当者を決めて地域と結びつけられるような取り組みはできないか。	集落担当制を導入している自治体があります。今後、市民と行政の距離が縮まる仕組み作りは検討したいと考えます。	
ジオタクの理解が進んでいないような気がしますどうなっていますか。	ジオタクは施策を実施する条件や場所が定まっており、真長田地域では実施していませんが、ジオタクを運営している地域では施策の立ち上げから万全なフォローを地域に対して行っているところであります。	